

平成26年第1回
組合議会定例会議事録

招集日 平成26年2月19日

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

ふじみ衛生組合議会

平成26年第1回 組合議会定例会議事録

招集日 平成26年2月19日(水)

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

1. 出席議員(10名)

1番 平野 充

2番 川畑 英樹

3番 渡辺 進二郎

4番 広瀬 美知子

5番 大須賀 浩裕

6番 緒方 一郎

7番 半田 伸明

8番 田中 順子

9番 石井 良司

10番 大城 美幸

2. 欠席議員(0名)

3. 出席説明員

管 理 者	清 原 慶 子	副 管 理 者	長 友 貴 樹
参 与	河 村 孝	参 与	小 林 一 三
総 務 主 幹	清 水 富美夫	総 務 主 幹	柏 原 公 毅
清 掃 主 幹	小 池 晋	清 掃 主 幹	上 野 洋 樹
人 事 主 幹	岡 本 弘	文 書 主 幹	一 條 義 治
財 務 主 幹	土 屋 宏	契約・検査主幹	刀 祢 平 秀 輝
会計管理者・ 出 納 主 幹	浜 三 昭	公 平 委 員 会 事 務 長 補 佐	服 部 清
事 務 局 長	井 上 稔	事 務 局 次 長	齊 藤 忠 慶
施 設 課 長	澤 田 忍	総 務 課 長	荻 原 正 樹
総務課長補佐	佐 藤 昌 一		

午前9時56分開会

○議長（大須賀浩裕君） 皆さん、おはようございます。これより、平成26年第1回ふじみ衛生組合議会定例会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

日程第1 会期の決定

○議長（大須賀浩裕君） 日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は本日1日といたします。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大須賀浩裕君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日とすることに決定いたしました。

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（大須賀浩裕君） 続きまして、日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第36条の規定により、4番広瀬美知子さん及び8番田中順子さんを指名いたします。

日程第3 管理者報告

○議長（大須賀浩裕君） 日程第3、管理者報告に入ります。それでは、管理者、お願いいたします。清原管理者。

○管理者（清原慶子君） 皆様、おはようございます。暦の上では春を迎えておりましても、大雪が続くなど、いまだ厳しい寒さが続く今日このごろでございます。議員の皆様におかれましては、両市の定例議会を控え、何かとご多用の時期に、平成26年第1回ふじみ衛生組合議会定例会をお願い申し上げまして、大変恐縮に存じております。

それでは、早速報告に入らせていただきます。本日報告をさせていただく事項は、5件でございます。

ご報告の第1件目は、ごみ処理実績についてでございます。

平成25年度第3四半期の状況でございます。なお、重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告させていただきますので、あらかじめご了承をお願い申し上げます。

初めに、資料の1をごらんください。クリーンプラザふじみの平成25年10月から12月までの処理実績でございます。この3カ月間の総搬入量は1万7,755トンでござ

ございました。その内訳といたしましては、三鷹市が7,565トン、調布市が8,501トンのほか、リサイクルセンターにおける処理後の可燃性残渣が1,689トンとなっています。組織市の搬入割合を申し上げますと、三鷹市が47.1%、調布市が52.9%でございます。焼却処理につきましては、1万6,839トンでございまして、焼却灰等1,989トンを搬出いたしました。

続きまして、資料の2をごらんください。クリーンプラザふじみの平成25年1月から12月までの処理実績でございます。この1年間の総搬入量は6万8,899トンでございました。その内訳といたしましては、三鷹市が2万9,131トン、調布市が3万2,828トン、リサイクルセンターの可燃性残渣が6,940トンとなっています。組織市の搬入割合を申し上げますと、三鷹市が47.0%、調布市が53.0%でございます。焼却処理につきましては、6万3,874トンでございまして、焼却灰等7,584トンを搬出いたしました。

次に、資料の3をごらんください。リサイクルセンターの平成25年10月から12月までの処理実績でございます。この3カ月間の総搬入量は4,697トンでございまして、前年度と比較いたしますと196トン、4.0%の減となっています。その内訳といたしましては、三鷹市が2,392トンで構成比50.9%、前年度比74トン、3.0%の減、調布市が2,305トンで構成比49.1%、前年度比122トン、5.0%の減となっています。

続きまして、資料の4をごらんください。リサイクルセンターの平成25年1月から12月までの処理実績でございます。この1年間の総搬入量は1万8,655トンでございまして、前年と比較いたしますと920トン、4.7%の減となっています。その内訳といたしましては、三鷹市が9,579トンで構成比51.3%、前年度比424トン、4.2%の減、調布市が9,076トンで構成比48.7%、前年度比496トン、5.2%の減となっています。

それでは、次に、ご報告の第2件目について申し上げます。クリーンプラザふじみについてでございます。施設運営等について、3点のご報告を申し上げます。

1点目は、視察・見学の状況についてでございます。資料の6をごらんください。クリーンプラザふじみの平成25年4月から12月まで、9カ月間の視察・見学者数でございます。総来場者数は169団体、6,588人となりました。特に11月には、後ほどご報告申し上げますが、ふじみまつりの開催もあり、1カ月で1,500人を超える多くの

皆様に見学をしていただきました。

また、小学校の社会科見学は、三鷹市15校、調布市12校の公立に加え、私立1校の合計28校で実施され、2,529人の児童に施設を見てもらうことができました。自分たちの出したごみがどう処理されるのか、実際に目で見て学ぶことが大切です。今年度につきましては、1月以降予定されていませんが、来年度以降、三鷹市、調布市両市の公立、私立を問わず、全小学校の児童に見ていただけるよう啓発活動に努めてまいります。

2点目は、国際協力についてでございます。引き続き資料6をごらんください。表の欄外2にありますように、日本における最新鋭の焼却施設であるということで、海外、とりわけアジア諸国から研修等で来場されています。ミャンマーのヤンゴン市との交流につきましては、昨年の第4回定例会でご報告申し上げました。その後におきましても、中国、ベトナム、インドネシアから見学に来られました。年が明けてからも、環境省や経済産業省、東京都アジア大都市ネットワークの主催によりまして、インドやモンゴル、タイ、フィリピンなど、アジア諸国の都市から廃棄物処理に関係する多くの皆様が訪れています。ごみは基礎自治体レベルで国際協力に貢献し得る数少ない行政分野の一つであると思っています。建設のプロセスを含めまして、ふじみ衛生組合の取り組みがこうした国々における環境問題の解決に少しでもお役に立てれば幸いに思っております。

3点目は、エントツくんの商標登録についてでございます。皆様ご案内のとおり、クリーンプラザふじみの愛称は、「三調めのエントツくん」です。このため、施設を象徴する煙突を題材に、市民の手づくりによりキャラクターデザインを作成し、活用を図ってまいりました。施設紹介DVDやパンフレットのほか、例えばクリアファイルや缶バッジに使用しています。社会科見学に訪れた児童には、「焼却場といえばエントツくん」が浸透してきています。このような、子供たちに親しみを抱いてもらう施設であることがとても大切だと感じています。これからもエントツくんを使ったさまざまなグッズを作成し、さらにPRに努めるため、商標の登録を申請いたしました。このたび、無事に手続きが完了いたしましたので、市民の皆様からアイデアもいただきつつ、エントツくんを最大限活用し、工夫を凝らした啓発活動を進めてまいります。

ご報告の第3件目は、ふじまつりについてでございます。三鷹、調布両市の環境学習の拠点となる施設ができるのですから、周辺住民のみならず、両市民が交流するイベントをしてはどうだろうか、そんなご提案を地元協議会の皆様からいただきました。そこで、昨年11月23日、勤労感謝の日に第1回のふじまつりを開催いたしました。秋晴れの

穏やかな陽気に誘われて1,153人もの皆様にご参加をいただきました。また、組合議員の皆様のみならず、両市議会の議員の皆様におかれましても、ご多用の中をお立ち寄りくださいました。この場をお借りして、心から感謝を申し上げます。おかげさまで第1回目が成功裏に終えることができました。地元協議会の委員の皆様と組合の職員による実行委員会で運営されたふじみまつりは、地域の住民の皆様を交えた三鷹市、調布市両市の共同作業が新たなステージに入ったことが実感される、そんな画期的なイベントになったと自負しております。ごみ処理施設は市民の皆様にとってなくてはならない必要な施設です。ふじみまつりを継続して開催していくことで、今後も参加と協働を基本姿勢として、愛され親しまれる施設づくりに取り組んでまいります。

ご報告の第4件目は、安全衛生専門委員会等についてでございます。昨年11月22日に第4回、本年2月6日に第5回の安全衛生専門委員会を開催いたしました。周辺住民の皆様が最も気にしておられる、委員会設置の第一の目的は、健康問題への対応でございます。このテーマについて検討が進められております。現在、健康状態のモニタリングのあり方をめぐって、医学面での課題のほか、個人情報保護など、さまざまな観点から議論が展開されています。なお、第35回地元協議会につきましては、明日2月20日に開催を予定しております。ごみ処理実績や環境測定結果をご報告するとともに、第2回ふじみまつりの開催等についても協議をしていただくこととしています。

最後に、ご報告の第5件目は、水銀対策の検討状況についてでございます。これまでのご報告から大きく変わった点はございません。現在も水銀が混入されないよう、水際で未然に防ぐため、搬入車両の抜き打ち検査を継続実施しています。不適物の混入はほとんど見られていません。この間、排ガスも安定して推移しています。その意味では、ソフト面での対策が抑止力として有効に機能しているものと考えています。昨年秋、我が国は水銀に関する水俣条約に署名いたしました。今後、条約の発効に向けた法整備など、国の動向を注視する必要があります。こうした客観情勢も踏まえまして、引き続き慎重に水銀対策の検討を進めてまいります。

私からの報告は以上でございます。なお、ごみ処理実績等の詳細につきましては、事務局より補足説明をいたさせますので、どうぞよろしく願いいたします。

○議長（大須賀浩裕君）　　続きまして、井上事務局長。

○事務局長（井上稔君）　　私からは管理者報告につきまして2件の補足説明をさせていただきます。

ご報告の第1件目、可燃ごみを除くごみ処理実績につきまして補足をさせていただきます。初めに、資料3をごらんください。リサイクルセンターの平成25年10月から12月までの3カ月間の状況でございます。搬入実績につきましては、クリーンプラザふじみの稼働に伴いまして、可燃性粗大ごみや皮革製品等が搬入されなくなったことに加え、リサイクルセンター稼働日数が1日少なかったこともあり、前年同期と比較いたしまして4.0%もの減少となっております。

搬出実績につきましては、まず左側の有償・無償の資源物から申し上げます。総量は前年同期とほとんど変化がありません。内訳の特徴といたしましては、B鉄が増加する一方で、容リ・プラスチックが減少となっております。

次に、右側の逆有償の資源物搬出の欄をごらんください。前期同様、プラスチック類を含む可燃性残渣につきましては、クリーンプラザふじみにおいて、全て焼却処理し、熱回収いたしました。水銀を含む有害廃棄物についてのみ逆有償での処分となっております。水銀対策の啓発効果もありまして、総量は少ないものの大きな増加率となっております。特に廃蛍光管につきましては、30.6%もの大きな伸びを示しています。もう少し経過を見る必要もありますが、LED照明の普及も要因の一つではないかと分析しているところでございます。

続きまして、資料4をごらんください。リサイクルセンターの平成25年1月から12月までの1年間の状況でございます。搬入実績につきましては、微減傾向が続いていますが、前年と比較いたしまして施設の稼働日数が259日ということで2日少なかったこともあり、4.7%もの減少となっております。その他の要因といたしましては、これまでご説明申し上げてきましたように、クリーンプラザふじみの稼働によるものと考えているところでございます。

搬出実績につきましては、まず左側の有償・無償の資源物から申し上げます。総量は前年から微減となっておりますが、B鉄が約357トン、42.9%と大きく増加しています。これは、既にご報告いたしておりますが、平成24年10月以降、手選別した小型家電を全てB鉄として売却できていることによるものです。搬入量に対する有償・無償での搬出量の割合、便宜上、中間処理による資源化率と呼ばさせていただきますが、その推移を見ますと、搬入量が減少する中、56.5%から59.0%へと、2.5ポイント増加し、資源率が高まっております。

次に、右側の逆有償の資源物搬出の欄をごらんください。前期同様、残渣を含め、プラ

スチック類につきましては、クリーンプラザふじみにおいて全て焼却処理し、熱回収いたしました。水銀を含む有害廃棄物についてのみ逆有償での処分となっております。廃乾電池につきましては、水銀対策の啓発の成果として、今年度に入ってから増加いたしました。年間では微減となっているところでございます。

なお、処理困難物は破砕系の処理システムの変更に伴いまして、スプレー缶・ライター処理機が設置される6月末までの間、これらの処理を委託し、搬出したものでございます。

続きまして、有価物品の価格の推移でございます。資料5をごらんください。平成25年第4回定例会以降の状況についてご説明申し上げます。金属類につきましては、本年1月に入札を実施いたしました。その結果、表にありますとおり全ての品目で単価が上昇いたしております。今後も市況を見ながら適切かつ有利な価格で売却できるよう努めてまいります。

補足報告の第2件目は、水銀対策の検討状況についてでございます。本日席上配付させていただきました参考資料をごらんください。昨年第4回定例会でご報告させていただきましたように、水銀対策を検討する上では、水銀血圧計や体温計の保有実態について把握する必要があります。このたび、三鷹市、調布市両市のごみ対策課のご協力を得まして、資料にありますようにアンケートを実施することといたしました。まずは医療機関に調査をお願いし、順次福祉施設や教育施設に広げてまいりたいと考えております。今後、調査結果を集計、分析した上で、国の動向等に留意しつつ水銀対策の検討を進めてまいります。

私からの報告は以上でございます。

○議長（大須賀浩裕君） 管理者からの報告は以上です。

ただいまの管理者の報告につきまして、質疑のある方は挙手をお願いいたします。6番 緒方一郎議員。

○6番（緒方一郎君） 緒方でございます。1点だけお願いいたします。海外からの視察がお見えになっているということなのですが、これはどういう機関なのでしょうか。政府、あるいは向こうの自治体、あるいは民間、そういった種類を教えてくださいと思います。

以上です。

○議長（大須賀浩裕君） 答弁を求めます。荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） 荻原でございます。政府の方も、ミャンマーでは何名か来ておりますが、それ以外の国につきましては、市の職員の方、並びに民間の廃棄物事業関

係者、そういった関係者がほとんどでございます。

以上でございます。

○議長（大須賀浩裕君） 6番緒方議員。

○6番（緒方一郎君） ありがとうございます。それらがまたプラント輸出に結びつければいいなと思っております。

○議長（大須賀浩裕君） ほかにご発言ありますか。1番平野議員。

○1番（平野充君） おはようございます。先ほどご説明いただきました資料4の2番の搬出実績のB鉄に関しましては、この手作業の成果といたしますか、評価したいと思っております。

それで、質問したいのは、資料1と2の可燃の実績なんですけれども、三鷹市の人口が大体約18万人、調布市が22万3,000人ぐらいだと思うんですけれども、大体どの項目も、調布市のほうがその人口の比率に応じて、少し高いのかなと見ている中で、3番の持ち込みだけが、三鷹市のほうが多くなっているんですけれども、四半期の分もそうですけど、年間も両方ともそうなんですけど、これはどういった、実情というか、何かございますでしょうか。そこがちょっと知りたかったんですけど。

○議長（大須賀浩裕君） 答弁を求めます。荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） これはこの間、両市のごみ処理施策によるものが反映しているというふうに考えております。調布市におきましては、二枚橋衛生組合の焼却炉がなくなってしまったということから、その後は事業系のごみについては廃棄物処理手数料を高くするというので、自己処理の原則推進という形で民間処理施設による処理を行ってきたという流れがございます。

一方、三鷹市につきましては、クリーンプラザふじみができる前までも三鷹市の環境センターございましたので、事業系のごみは三鷹市の環境センターのほうに通常どおり持ち込みをされておりました。

そのようなことから、調布市では事業系ごみの排出抑制が図られまして、三鷹市は調布市ほどではないということがあって、過去の経過からいたしましても調布市のほうが事業系ごみの持ち込みが減っております。ここに来まして、三鷹市も調布市もふじみ衛生組合の条例で廃棄物処理手数料を徴収するということとしましたので、現在は三鷹市も調布市も35円という同じ条件ではございますけれども、過去の経過がいまだに効いているということがあって、人口の割に比べまして調布市の事業系ごみの持ち込みが少ないというこ

と言えるのかなと思っております。

○議長（大須賀浩裕君） 1 番平野議員。

○1 番（平野充君） わかりました。ありがとうございました。

以上です。

○議長（大須賀浩裕君） 2 番川畑議員。

○2 番（川畑英樹君） おはようございます。1 点だけ、ちょっとお聞きしたいんですけども、水銀のアンケートに関してですけれども、三鷹、調布市両方にご協力いただくということですが、どの範囲、企業系だけなのか、それとも研究所、いろいろな施設があると思いますけれども、そこにも入るのかということと、これは定期的にやられるのか、その利用方法について、ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（大須賀浩裕君） 答弁を求めます。澤田施設課長。

○施設課長（澤田忍君） ただいまのご質問でございますけれども、今考えてございますのは、両市のご協力を通じてアンケート調査をやろうとしていますけれども、まず調布市内と三鷹市内のそれぞれ医療機関、例えば病院ですとか薬局、それらを今対象に考えております。ただ、これは今、定期的ということではなくて、とりあえず一度それをやろうということでございまして、その次、また教育施設ですとか福祉施設ですとか、順次行ってまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（大須賀浩裕君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） 本アンケートの目的でございますけれども、まず三鷹市内、調布市内の事業所等にどのぐらい水銀を含む廃棄物が存在しているのか。その辺の量を把握したいと思っています。量を把握することで、将来、含水銀廃棄物が万が一ふじみ衛生組合に来るという可能性がございますので、含水銀の廃棄物を保管している事業所さん等にふじみ衛生組合に持ってこないように、専門の業者さんに処理を依頼するようというような啓発を行っていきたいというふうに思っているところでございます。また、そういった専門の業者さんが見つからないというようなご相談があった場合には、ふじみ衛生組合で専門の業者さんのご紹介等も考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（大須賀浩裕君） 2 番川畑議員。

○2 番（川畑英樹君） ご答弁ありがとうございました。医療関係からまず入っていく

ということですが、どこでどういうふうに使われているかというのは、なかなか難しいことではあると思うんですね。ですから、どこまで範囲を広げるかというのは難しいかもしれませんが、やはりアンケート調査でまだまだ隠れているところがあったらいけないので、そこら辺もしっかりと状況調査をしていただきたいと、これは要望といたします。

○議長（大須賀浩裕君）　ほかにご発言ありますか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○議長（大須賀浩裕君）　それでは、ないようですので、以上で質疑を打ち切ります。

以上、5件は報告のとおりご了承をお願いしたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大須賀浩裕君）　ご異議なしと認め、管理者報告のご了承をお願いいたします。

日程第4　議案第1号　ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分について

○議長（大須賀浩裕君）　日程第4、議案第1号、ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分についてを議題といたします。

事務局に議案の朗読をさせます。齊藤事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（大須賀浩裕君）　朗読は終わりました。

管理者から提案理由の説明を求めます。清原管理者。

○管理者（清原慶子君）　議案第1号、ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

当組合職員の給与の改定につきましては、従来から三鷹市に準じて実施してきたところでございますが、三鷹市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例が三鷹市議会におきまして平成25年11月29日可決され、平成25年12月1日から施行されました。

これに伴いまして、当組合の給与に関する条例を改正する必要が生じましたが、議会を招集する時間的な余裕がないことが明らかでございますので、地方自治法第292条において準用する同法179条第1項の規定に基づきまして、当該条例を平成25年11月29日付けで専決処分いたしました。

給与改定の内容でございますが、三鷹市に準じ、行政職給料表（1）及び（2）を改め、

給料月額を平均0.21%引き下げるもので、平成25年12月1日から施行いたしました。

提案理由の説明は以上のとおりでございます。よろしくご審議をお願い申し上げます。

○議長（大須賀浩裕君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○議長（大須賀浩裕君） それでは、発言がないようですので、質疑を打ち切り、討論を省略して採決したいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大須賀浩裕君） ご異議なしと認め、これより採決いたします。

議案第1号、ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分について、原案のとおり承認することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（大須賀浩裕君） ありがとうございます。満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり承認されました。

日程第5 議案第2号 ふじみ衛生組合情報公開条例の一部を改正する条例

日程第6 議案第3号 ふじみ衛生組合特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

○議長（大須賀浩裕君） 続きまして、日程第5及び第6、議案第2号、ふじみ衛生組合情報公開条例の一部を改正する条例及び議案第3号、ふじみ衛生組合特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例、以上2件を一括議題といたします。

事務局に議案の朗読をさせます。齊藤事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（大須賀浩裕君） 朗読は終わりました。

管理者から提案理由の説明を求めます。清原管理者。

○管理者（清原慶子君） 議案第2号、ふじみ衛生組合情報公開条例の一部を改正する条例及び議案第3号、ふじみ衛生組合特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例につきまして、一括して提案理由のご説明を申し上げます。

平成25年ふじみ衛生組合議会第4回定例会において議決をいただきましたふじみ衛生組合公平委員会設置条例の廃止に伴い、ふじみ衛生組合情報公開条例及びふじみ衛生組合特別職の職員の給与等に関する条例の中の公平委員会に係るものを削除し、既定の条例を整備するものでございます。

平成26年4月1日から施行いたしたいと存じます。

提案理由の説明は以上のとおりでございます。どうぞよろしくご審議をお願い申し上げます。

○議長（大須賀浩裕君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。7番半田伸明議員。

○7番（半田伸明君） 議案第2号、ふじみ衛生組合情報公開条例の一部を改正する条例について質問いたします。

本議案は文言修正というレベルですので、特に問題ない話かと思うんですが、確認しておきたい話が1点あります。この情報公開条例、制定されて現在に至るまで、こういった文言修正以外に何か抜本的に改正した経緯が、過去あったかどうか。この点をちょっと確認しておきたいと思います。

○議長（大須賀浩裕君） 答弁を求めます。井上事務局長。

○事務局長（井上稔君） いわゆる文言整理といったこと以外について、抜本的に条例の根底から全面見直すような、そういう改正はいたしておりません。

○議長（大須賀浩裕君） 7番半田議員。

○7番（半田伸明君） 本議案は文言修正レベルですので、とはいえ、情報公開条例の改正条例ですから、ここで言うしかないと思ったんですが、情報公開のあり方は、やはりもう1回見直すべきだろうと私は思います。今日は傍聴者少ないですが、時期ごとに傍聴者が増える時期が当然あります。傍聴者にこういった定例会の資料を渡せるような体制を、ぜひやはり確立をしていただきたい。実際に情報公開請求をしないと定例会資料が出てこないという現実は、やはりおくらせています。一般の市議会レベルでは情報公開条例ということで情報公開請求する必要なく、傍聴にお越しになられた方には資料を配付している議会、現実でございます。

一部事務組合とはいえ、ここも議会でございます。情報公開条例の姿勢を今後さらに広めていくんだということで、こういった定例会の資料の配付をはじめ、いま一度ふじみ衛生組合の議会の資料の公開のあり方について、ぜひ今後お考えいただきたい。その旨要望

いたしまして終わります。

○議長（大須賀浩裕君） ほかにご発言ありますか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○議長（大須賀浩裕君） ないようですので、以上で質疑を打ち切ります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○議長（大須賀浩裕君） ないようですので、討論を打ち切ります。

これより採決いたします。議案第2号、ふじみ衛生組合情報公開条例の一部を改正する条例について、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（大須賀浩裕君） ありがとうございます。満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

続きまして、議案第3号、ふじみ衛生組合特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（大須賀浩裕君） ありがとうございます。満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第7 議案第4号 平成25年度ふじみ衛生組合補正予算
(第1号)

○議長（大須賀浩裕君） 日程第7、議案第4号、平成25年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）を議題といたします。

事務局に議案の朗読をさせます。齊藤事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（大須賀浩裕君） 朗読は終わりました。

管理者から提案理由の説明を求めます。清原管理者。

○管理者（清原慶子君） 議案第4号、平成25年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

補正予算（第1号）の概要でございますが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,000万円増額し、総額を17億2,589万5,000円とするものでございます。

内訳といたしまして、歳入予算におきましては、分担金及び負担金を1億8,065万9,000円減額し、繰越金を1億6,609万2,000円、諸収入を3,456万7,000円増額するものでございます。

歳出予算におきましては、事業費のうちごみ処理場費に2,000万円を増額し、15億907万9,000円とするものでございます。

なお、事務局長から詳細の説明をいたさせますので、よろしく願いいたします。

提案理由の説明は以上のとおりでございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○議長（大須賀浩裕君） 井上事務局長。

○事務局長（井上稔君） 議案第4号、平成25年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）の詳細につきまして、ご説明をさせていただきます。

総括的な歳入予算規模については、管理者のほうからご説明申し上げましたので、早速ですが事項別明細書に沿いまして歳入予算からご説明を申し上げます。

補正予算（第1号）説明書の8ページ、9ページをお開きいただけますでしょうか。まず歳入の補正ですが、この後、ご説明いたします繰越金及び諸収入の歳入の増に伴いまして、両市の分担金を1億8,065万9,000円減額するものでございます。それぞれ三鷹市分賦金、調布市分賦金については、ここにあるとおり9,043万1,000円、9,022万8,000円とそれぞれ減額するものでございます。

続きまして、10ページ、11ページをお願いいたします。繰越金につきましては、平成24年度決算の確定に伴い、既定額との差額1億6,609万2,000円を増額するものでございます。

続きまして、12ページ、13ページをお願いいたします。諸収入につきましては、増額する3,456万7,000円のうち、2、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会からの再商品合理化供出金1,456万7,000円を先ほどの繰り越しとともに分賦金の減額に反映する財源とするものでございます。

また、1番、可燃ごみ処理施設売電収入の増2,000万でございますが、これにつきましては先の定例会でご報告いたしましたとおり、平成25年11月より電気事業者を東京電力株式会社からPPS事業者のオリックス株式会社に変更したことによりまして、売電収入の増加が見込まれますことから2,000万円の歳入増を図るものでございます。

一方、売電収入につきましては、クリーンプラザふじみ運営事業者でありますエコサー

ビスふじみ株式会社の施設運営に帰するために、歳出予算として、15ページにございますが、それぞれ事業費・ごみ処理場費、クリーンプラザふじみ運営費の売電収入相当額委託料を2,000万円増額し、全体としてごみ処理場、クリーンプラザ運営費につきまして6億9,917万3,000円とするものでございます。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくご審議をお願い申し上げます。

○議長（大須賀浩裕君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○議長（大須賀浩裕君） ないようですので、質疑を打ち切ります。

これより討論に入ります。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（大須賀浩裕君） ないようですので、討論を打ち切ります。

これより採決いたします。議案第4号、平成25年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（大須賀浩裕君） ありがとうございます。満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第8 議案第5号 平成26年度ふじみ衛生組合予算

○議長（大須賀浩裕君） 続きまして日程第8、議案第5号、平成26年度ふじみ衛生組合予算を議題といたします。

事務局に議案の朗読をさせます。齊藤事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（大須賀浩裕君） 朗読は終わりました。

管理者から提案理由の説明を求めます。清原管理者。

○管理者（清原慶子君） 議案第5号、平成26年度ふじみ衛生組合予算につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

両市の行財政を取り巻く環境は、引き続き、大変に厳しい状況でございます。しかしながら、このように厳しい状況の中におきましても、平成26年度においてふじみ衛生組合では歳入の効果的な確保を図りながら、運営経費の抑制に努め、組織市の健全な財政運営

を確保するとともに、安全で安定した施設運営に努めてまいります。

具体的に申し上げますと、クリーンプラザふじみにつきましては、引き続き環境の安全、そして運営の安全に徹底的に配慮し、緊急事態への対応も含め、適正なごみ処理に取り組んでまいります。

また、リサイクルセンターにつきましては、日々の不燃ごみ及び資源物をしっかりと適正に処理し、資源化を継続して推進するとともに、臭気対策の設備改善に見られるような施設の適切な維持管理及び長寿命化を図るための対策を実施してまいります。

平成26年度におきましては、市民の皆様の生活を守る立場で、ごみ処理行政を推進することはもちろんですが、両市の環境学習の中心的な施設として市民の皆様に愛される施設づくりにより一層の努力をしてまいります。

このような方針に基づきまして予算編成に取り組みました結果、平成26年度の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ16億9,380万7,000円で、前年度と比較いたしますと1,208万8,000円、約0.7%の減となっております。なお、各款項別の予算の内容につきましては、事務局長から詳細の説明をいただきますので、よろしくお願いいたします。

提案理由の説明は以上のとおりでございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○議長（大須賀浩裕君） 井上事務局長。

○事務局長（井上稔君） では、議案第5号、平成26年度ふじみ衛生組合予算の詳細につきましてご説明をさせていただきます。

平成26年度ふじみ衛生組合予算及び同説明書をごらんください。1ページをごらんいただけますでしょうか。26年度予算の構成につきましては、歳入歳出予算と地方債の2件になっております。25年度につきましては、債務負担行為がございますし、また4条で一時借入金の設定をしておりましたが、大規模事業はないこと、あるいはクリーンプラザふじみが運営2年目を迎えますことから、非常に資金収支が計画的に確保しやすいということから、今回、一時借入金についてはこの予算から除きましたので、ご了承をお願いいたします。

続きまして、2ページ、3ページをごらんください。これは歳入歳出のそれぞれ款項です。歳入につきましては6款7項、歳出につきましては5款5項に区分いたしまして、総額16億9,380万7,000円の予算額となっております。詳細につきましては、後ほ

ど事項別明細書に沿いましてご説明させていただきます。

それから、続きまして4ページをごらんください。地方債でございます。今年度につきましては、リサイクルセンター設備更新事業ということで後ほど出てまいります。ペットボトル圧縮梱包機の更新工事を対象に、限度額5,800万円、起債の方法としては証書借入、または証券発行、利率としては4.5%以内、償還の方法につきましては、据え置き期間を含めて30年以内というふうに定めております。実際の借り入れにつきましては、後ほど調査のところでご説明申し上げます。

続きまして、歳入歳出予算事項別明細書の6ページ、7ページ、これは総括になります。特に歳入でございますが、分担金及び負担金から始まりまして、組合債まで6款になっています。昨年度と大きく違いますのは、一番下に括弧書きで財産収入と書いてございます。これにつきましては、昨年度までいわゆる有価物売却収入を財産収入の中で経理してまいりましたが、これについては、いわゆる行政実例といわれるものを見ますと、そこでも構わないとなっているんですけれども、今度、東京都からご指導がございまして、いわゆる売っているものが組合の財産ではなくて、集めてきて資源化したものであるということから、今回、財産収入ではなくて諸収入に区分をして経理することといたしました。したがって、財産収入の科目がなくなるということで、ここに表記いたしてございます。6,936万9,000円の減となりますが、実際には内容としては諸収入のほうに組み込まれているところで、後ほどご説明をさせていただきます。

それから、右側、歳出でございますが、これにつきましても全体として1,200万円ほどの減少となっておりますが、特に公債費が3,181万6,000円の大きな減少となっているのが特徴となっております。これにつきましても後ほどご説明をさせていただきます。

それでは、具体的に歳入のほうから入ってまいりたいというふうに思います。では、8ページ、9ページをお願いいたします。初めに分担金及び負担金です。両市の分賦金になりますが、分賦金につきましては3つの算定根拠となっております。均等割、処理量割、人口割と。均等割につきましては、基本的に議会、総務等々の事務局の運営に係る経費でございまして、これは両市が均等に負担することといたしております。

また、処理量割につきましては、それぞれ先ほど報告させていただきましたが、暦年で、例えば26年度であれば平成25年1月から12月までのそれぞれの処理量に応じて負担をするという形になっています。特にごみ処理割の管理費につきましては、ごみ量総体、

可燃、不燃、総量です。それから、リサイクルセンターにつきましては不燃系のごみの処理量、それから、クリーンプラザふじみにつきましては可燃ごみの搬入量といった形でそれぞれ案分して算定をさせていただいております。

それから、施設の整備、建設に係る経費につきましては、人口割ということで前年の4月1日現在の人口比率によりまして案分させていただいて、負担をお願いしているという状況でございます。今年度、分賦金につきましては、前年度と比較しまして9,915万円の減少ということになっております。三鷹市分賦金につきましては、ここにありますように4億90万6,000円ということで、昨年度と比較いたしまして4,738万1,000円の減となっております。

続きまして、10ページ、11ページ、こちら調布市の分賦金になりますが、同じように26年度につきましては3億9,269万円でございます。前年度と比較いたしますと5,176万9,000円の減少となっているところでございます。

これら分賦金の減少につきましては、さまざまな歳入の増と、それから歳出の精査に伴います減ということで、それぞれ分賦金が減少となっております。

続きまして、12ページ、13ページをお願いいたします。使用料及び手数料、廃棄物処理手数料でございます。先ほどの管理者報告の中で質疑がございましたが、廃棄物処理手数料につきましては25年度から組合の条例に基づきまして持ち込み手数料をいただいております。キロ当たり35円になっておりまして、昨年度8,700トンで見込んでおりましたが、今年度は景気の回復もありまして、事業系ごみが若干増えているということをお伺いしておりますので、今回、300トン増やしまして9,000トンで算出いたしました。したがって、前年度と比較いたしまして1,050万円の増となっております。

続きまして、14ページ、15ページをお願いいたします。国庫支出金でございます。これにつきましては、焼却灰等の放射能の測定に対しまして補助金が出てまいります。これにつきましては、補助率は10分の10でございます。前年と比較いたしまして273万8,000円減少しておりますが、これは契約いたしました実額に基づいて今年度予算化をいたしましたので、歳出予算につきましても同額の167万2,000円となっております。これは内容として、なくなったとか減ったとか、そういうことでございませんで、契約実績に応じて積算した結果、この数値となったということでございますので、よろしくをお願いいたします。

続きまして、16ページ、17ページをお願いいたします。繰越金でございます。これ

につきましては前年同様2,000万円を予算措置させていただいております。

18、19ページをお願いいたします。諸収入でございます。最初の預金利子、組合預金利子につきましては、前年度と同様20万円を組まさせていただいております。

雑入でございます。ここが先ほど冒頭で申し上げました歳入の財産収入から移行してきたものが雑入の1番、有価物売却収入でございます。今年度は8,785万1,000円、昨年度が6,936万9,000円でしたので1,848万2,000円の増を見込んでおります。これにつきましては単価の改定等々を見据えまして、今回、増額をしたものでございます。

その他の雑入ですが、これにつきまして特に変わった点としては、1点目の可燃ごみ処理施設使用電気料収入、これにつきましては、全炉停止となりますと発電ができませんので、その場合にはいわゆる電気を買う、買電ということになりますが、そのときの費用につきまして、エコサービスふじみのほうから、その電気料金を一旦いただいて、私どもが歳出として電力会社に支払うということをやっておりますので、その分の歳入でございます。したがって、運営2年目を迎えますことから、全炉停止の日数も減るであろうということから、昨年と比べて750万ほど減少いたしております。

続きまして可燃ごみ処理施設売電収入、これにつきましては先ほどの補正予算と同様の話になりますけれども、売電事業者が変わりまして単価が上がりましたので、昨年が3億2,807万4,000円でしたので、昨年と比べて5,632万6,000円もの大幅な増額となっております。

その他の3点の経費につきましては、前年と同額を見積もっているところでございます。

続きまして、20ページ、21ページをお願いいたします。組合債でございます。今年度は5,800万円、リサイクルセンター工事ということで、先ほど申し上げましたようにペットボトルの圧縮梱包機更新工事に係る経費を対象として充てております。75%の充当率で、ここにありますように区市町村振興基金を予定しております。区市町村振興基金の借入れ条件は、3年据え置き期間を含めました15年償還ということで予定をしているところでございます。

以上が歳入でございます。

22ページ、23ページは先ほど申し上げましたように、財産収入を諸収入に振りかえましたので、科目減ということでございます。

24ページ、25ページをお願いいたします。歳出になります。議会費につきましては、

前年と同様のほぼ予算組みとなっております。

26ページ、27ページ、総務費をお願いいたします。総務費、一般管理費に関しましては、特別職、総務課職員、各委員会委員などの人件費、それから、地元協議会の運営費、事務局運営費を計上いたしているところでございます。人件費につきましては、都市公平委員会への加入に伴いまして、公平委員会費が全部なくなったということ。それから、職員人件費その他におきまして、これまで事業費に計上しておりました嘱託員の報酬といったもの、あるいは臨時職員の賃金といったものを、全てこの総務費へ移行してまいりましたので、その分が増加ということになっております。嘱託職員220万、臨時職員の賃金139万円ほどが増加となっているところでございます。また、事務局の運営経費につきましましては例年どおりの計上となっております。それから、地元協議会、専門委員会につきましても、今年度と同様の運営を予定しているところでございます。

続きまして、30ページ、31ページをお願いいたします。環境学習・地域交流推進費でございます。こちらにつきましては1,100万円もの大幅な増額となっておりますが、これにつきましても先ほどありましたように事業費から視察対応関係の業務委託、あるいは環境学習推進委員の賃金等々を移行してまいりましたので、非常に増えた形になっておりますが、実際には事業費からの経費の移行ということになってございます。共済費、賃金といったところにつきましては、これまでなかった科目でございまして、これらについては事業費の方から来たものでございます。さらにここにあります一番大きな環境学習対応業務委託料、環境学習推進費の中の下から3段目ですが、環境学習対応業務委託料、これにつきましてもこれまで事業費の中で対応していたものでございます。

続きまして、2点目のふじまつり運営費でございますが、これにつきましては、今年、第1回目になりまして、来年、第2回目を予定しておりますが、非常に皆様に好評を博しましたことから、110万円ほど増額をいたしまして予算措置をさせていただいております。

続きまして、32、33ページをお願いいたします。事業費、ごみ処理場費でございまして、これについてはリサイクルセンター、クリーンプラザふじみの運営に関する費用について経理している科目でございます。まずごみ処理場管理費につきましては、施設課の職員の人件費並びに不燃、可燃両施設に共通する経費につきまして、ここでは予算措置をさせていただいております。特に職員人件費関係につきましては、昨年までいしましたが、特別職参事につきまして、3名こちらで経理しておりましたが、全て総務費に移す、ある

いは1名につきましては、参事を1名減ずることといたしておりますので、そういった関係で職員人件費が大幅に減額となっております。

それから、ごみ処理場事務関係費については、ほぼ前年同額ですので、したがって、この1,590万円の減額につきましては、ほとんどがこの職員人件費関係の経費の減だということでご承知おきいただければというふうに思っております。

続きまして、34、35ページをお願いいたします。リサイクルセンターの運営費でございます。こちらにつきましては、全体として2,384万2,000円の増となっております。これは細かく見てまいります、消耗品、修繕料の精査、あるいは燃料、光熱水費の節約等によりまして950万円ほどの減額となっております。また、委託料につきましては、今年度、新たに委託したものがございまして、委託料全体としては1,113万円の増額となっております。

ちなみに、今年度新たに委託いたします項目についてご説明を申し上げます。ちょうど中段あたりになりましょうか、プラスチック圧縮梱包機保守点検委託料89万5,000円、これが新たに26年度から発生するものでございます。それから、次ページに行きまして、37ページになりますが、上から5つ目、不燃ごみ等残さ調査委託料から小型破碎機保守点検委託料、集塵脱臭設備活性炭交換業務委託料、ねずみ駆除業務委託料、この4点、全体で5件の委託料について新たに業務として積算をさせていただいております。これらによりまして、ほぼ1,100万円程度の増加となったものでございます。

なお、委託料につきまして一番大きなものは、34、35ページに戻りますが、リサイクルセンターの運営についてお願いしております不燃ごみ処理業務委託料3億3,110万8,000円、これがほとんどを占めているというところでございます。

続きまして、37ページの今年度の工事でございますが、ここにありますように2号不燃ごみ系磁選機更新工事費から始まりまして一般補修工事費までを予定いたしております。特に、先ほどから何度も申し上げますが、ペットボトル圧縮梱包機更新工事費7,819万2,000円につきましては、起債対象の工事となっております。また、中央棟機械室コンベヤ整備工事費につきましては、コンベヤの選別処理の作業ラインについて見直しを行いまして、さきの定例会でご質問がありましたが、いわゆる容リ・プラスチックの品質を高めるための更新工事を行っていかうということで、今回、この中央棟機械室コンベヤ整備工事を行うものでございます。

以上の関係で、今回、全体として精査いたしまして2,384万2,000円のリサイク

ルセンターについては増額となったところでございます。

続きまして、38、39ページをお願いいたします。クリーンプラザふじみの運営費でございます。稼働2年目を迎えますことから、経費についても精査を行いまして、578万3,000円の減少となったところでございます。また、この目の特徴といたしましては、本年度の財源内訳をごらんいただきたいと思いますが、一般財源につきましてはゼロとなっております。売電収入等々の関係で、あるいは廃棄物処理手数料等々をこちらに充当いたしますとオーバーフローするということもありまして、一部財源については公債費のほうへも振り分けているといった状況になってございます。

このクリーンプラザふじみの運営費について特徴的なところで申し上げますと、整備に伴いまして環境影響評価の事後調査を行ってまいりましたが、事後調査業務について、今年度は224万4,000円予算措置させていただいておりますが、最終年度に当たりまして、25年度につきましては3,627万5,000円を予算化しておりましたので、3,000数百万円の減少ということになっております。また、逆に先ほどの歳入とも絡んでまいりますが、売電収入相当額委託料、これが3億6,787万3,000円となっております。3,980万程度の増額ということになっているところでございます。それから、放射能測定調査委託料167万2,000円につきましては国庫補助金と同額を歳出予算でも予算措置させていただいているという内容でございます。また、資材化委託料、灰中金属処分委託料、これらにつきましては、平成25年度は先日ご視察をいただきましたメルテックのほうへ委託した経費でございます。

一番下の事業系搬入物検査調査委託料420万、これにつきましては新規事業でございます。先ほどの水銀対策とも相まって、これは来年については直営も含めて委託でも実施していこうということで、定期的に委託で実施することといたしましたので、420万円を計上させていただいております。

続きまして、40ページ、41ページをお願いいたします。公債費でございます。今年度の特徴といたしましては、初めて元金の償還が始まります。3年据え置き期間を終えまして、平成22年度債について元金償還が始まるということで、今年1,970万4,000円の元金償還となっております。また、利子につきましては22年度から24年度分、さらに区市町村振興基金に関しましては、25年度、今年プラスチックの圧縮梱包機で借入れを予定しておりますが、それに対する初年度の利息ということで見込みまして、2,888万5,000円となっております。なお、前年度が8,040万

5,000円で、比較して5,152万円の利息が減っているという形になってはいますが、実は平成25年度予算の当初予算を組む際に平成24年度債の利子を見込んでおりましたが、それにつきましては平成24年度の最終の補正予算で特別交付税の関係で分賦金が出ておりますが、その関係で、実際の起債額が減っております。それが当初予算の予算措置には間に合わなかったこともありまして、この5,152万という大きな差額が出てはいますが、決算をいたしますとこれほどの大きな決算額にはならないということで見込んでいるところでございます。

それから、42、43ページ、予備費につきましては、例年どおりの2,000万円を予算措置させていただいております。

続きまして、44ページ、45ページ以降ですが、給与費明細書になります。特に特別職のところで一つ特徴点がございまして、比較増減の欄をごらんください。その他で職員数4人、それから報酬の額で、トータルで1,048万5,000円の減額となっておりますが、これにつきましては、4名の内訳は、3名が公平委員会の委員でございまして、それから、1名が先ほど事業費のところでも申し上げましたが、特別職、非常勤参事ということで、都のOBの方をお願いしてまいりました。これにつきましては、クリーンプラザふじみの運営に関しましてモニタリングのアドバイスをいただくとかいうことをやってまいりましたが、来年以降は自前でやっていこうということで、26年度については参事を1名減するという中身でございまして、報酬あるいは共済費等々で1,048万5,000円の減額となったものでございます。

それから、一般職に関しましては、45ページですが、今回、本年度12名、(2)でまた1名再任用職員を増やすことといたします。正職員から1人再任用職員ということで、施設課のほうにも1名を増やすという中身でございまして、給料についてはいろいろ年代の差によりまして、若干出っ張り引っ込みありますが、トータルとしては103万8,000円の減額ということでございます。

それから、46ページ以降につきましては、その内訳でございまして、またごらんいただければというふうに思っております。

それから、50ページ、51ページが債務負担行為の残高に関するものでございまして、今、債務負担行為としては残っているのは3点、新ごみ処理施設整備運営事業、廃棄物情報管理システム等使用料、スプレー缶・ライター処理機賃借料でございまして、27年度以降、約40億程度でしょうか、残るということになるかと思っております。

それから、最後、52ページが地方債の現在高見込みでございまして、26年度から元金償還が始まりますので、クリーンプラザふじみの残高は減ってまいります。リサイクルセンターで新たに5,800万円の借入れを行いますことから、26年度末に關しましては31億8,619万6,000円の地方債残高ということで見込んでいます。

平成26年度ふじみ衛生組合予算の説明については以上でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

○議長（大須賀浩裕君） 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。6番緒方一郎議員。

○6番（緒方一郎君） ご説明ありがとうございます。若干お聞きいたしますが、最初に、今日は配席表を配っていただいたんですが、代理の方が出ていらっしゃると思いますが、そういう場合には事前にご説明いただければと思います。

それから、質問のほうに入ります。まず、歳出、歳入とも売電でございます。これが命の鍵でございますが、発電機のほうは順調にトラブル、あるいは故障、課題等はなかったのでしょうか、お聞かせください。

それから、2番目、先ほどプラごみのことはすぐに対応していただいて、改善をしていただいております。前にご指摘いたしましたプラスチック製容器包装ベール品質管理調査結果一覧には、その後、悪いところは出ていないというふうに考えてよろしいでしょうか。

それから、同じページの予算書の今のは中央棟機械室コンベヤ整備工事の37ページでございますが、その上にねずみ駆除というのが出ております。実際に、これはねずみが出ておるのでしょうか。市内でも出ております対応のときに、下水道に巣くって、その場所だけでは対応できないことがあると思いますので、三鷹、調布のそういう下水道とあわせて対策は考えられているのでしょうか。

それから、4番目、確認でございます。先ほど、全炉停止ということがございました。全炉停止の日には何日間ぐらい、トータルで予定されているのか。それから、あわせて確認でございますが、そのときはごみはストックをしておくのでしたでしょうか。あるいは、どこかで燃やしていただくのでしょうか。同じように武蔵野市との提携というのは、逆に武蔵野市が停止したときにこちらで受け入れていくということだったのでしょうか、確認させていただきます。

最後が、ふじみまつりでございます。大変時期的に行事が重なって、いろいろなところ
に分散をしてしまう嫌いがあったり、それから、この間もちょっと危なかったんですが、
雨の対応、雨の場合どうするのかという対応。それから、最初でございましたのですが、
今後の課題として、もう少しお取引先とか民活とか地域の方々の出店面でのご参加も考え
ていただきたいなと思っておりますが、その辺の方向性についてお聞かせください。

以上でございます。

○議長（大須賀浩裕君） 答弁を求めます。荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） 私からは1点目の売電について、それから、4番目の全炉
停止について、その2点についてご説明をさせていただきます。まず、1点目の売電でご
ざいますけれども、おかげさまで発電機のほうは順調に動いております。そこで、事務局
長のほうからもご説明いたしましたとおり、東京電力からオリックス株式会社へ売電先を
変え、1キロワット当たりの単価が4円ほど上がったということで、26年度については
25年度よりも多くの売電収入を見込んでいるというところでございます。

続きまして、4点目の全炉停止の関係でございますが、26年度につきましては、全炉
停止は6月に予定をしております、大体10日間予定しております。この期間のごみで
ございますけれども、ご質問がございましたとおり、武蔵野市と相互支援協定を結んでお
りますので、この6月の10日間の前後に武蔵野市のほうへ約300トン、ごみを持ち込
みます。それ以外の時期に、逆に武蔵野市から300トン引き受けをするということで、
お互いに協力をしていきたいというふうに思っているところでございます。

以上でございます。

○議長（大須賀浩裕君） 答弁を求めます。澤田施設課長。

○施設課長（澤田忍君） 私からは2点目のプラスチックごみの容器包装比率の関係と、
3番目のねずみ駆除の関係でお答えさせていただきますけれども、まず2点目でございま
すけれども、プラスチックごみの件でございますが、今ホームページに載っております
のは、平成25年度のまだ検査の結果でございます、また26年度、ちょっとその品質
の検査がございます。それですので、先ほど説明で申しましたとおり、37ページの中央
棟機械室コンベヤ整備工事というものがございまして、それをやらせていただいて、ちょ
っと改善していきたいというふうに考えておりますので、またその後、その検査結果等を
踏まえて、もちろん私どもとしてはこれ以上悪くするつもりはございませんので、今のと
ころは、ちょっとまだ変わっていないという状態でございます。

それと3番目のねずみ駆除の件なんですけれども、実はリサイクルセンター、前々からちょっと出ていたんですけれども、実は25年度、夏場を過ぎてちょっと涼しくなった秋口以降から、やはりねずみがかかなり増えてきてまして、私どもとしては例えば電気の配線ですとか、そういったちょっとかじられているとか、そういう被害がございましたので、これは私どもの仕掛けだけでは足りないもので、実は12月に専門業者のほうに契約させていただいていました。それで、12月中旬以降、今、現在に至る約2カ月間、今取り組みしていますけれども、専門業者のほうで累計で約80匹捕まえてまして、私どもといたしまして約20匹捕まえています。今、2カ月間では合計は100匹程度捕まえております。

ただ、これは今、ねずみは非常に頭のいい動物だと聞いておりますので、26年度以降も、ちょっとこれはやっぱり継続して取り組んでいかなければいけないというふうに思っております。予算計上させていただいたものでございます。

私からは以上でございます。

○議長（大須賀浩裕君） 齊藤事務局次長。

○事務局次長（齊藤忠慶君） 私からはふじみまつりについてお答えをいたします。ふじみまつりの日程の関係でございます。やはり今年度やらさせていただきましたときには非常に両市とも行事が重なっておりましたので、来年度、今、予算審議中でございますけれども、地元協議会の方に早目にご協議をして、まず委員会の方を立ち上げさせていただいて、各市の行事のほう、定例的なこともございますので、その辺のほうを調査しながら、なるべく重ならないような日とか、皆様が来れるような日程のほうを考えていきたいと思っております。

また、あと、出店者の関係でございますけれども、おかげさまで地元協議会のメンバーの皆様、いろいろお知り合いになっているようなところの団体さんとかのお力をかりながら、また両市の皆様の各委員さん、委員会とかございますので、そういったところのお力をかりていろいろなところにお声をかけて数を増やしていきたいと考えているところでございます。

済みません、1点漏れました。雨対策でございます。今年度も考えておまして、できるだけ中のほうに避難をさせていただけるような形で、その場合はやはり研修ホールというのを柔軟に使わせていただくような形、あるいは玄関ホール、そういったところで、中でできるだけ開催できるようなところも一応考えながら人員の配置、あるいは人の動線等々、シミュレーションはさせていただいておりますので、そのないことを願って、そ

ういう形でまた考えていきたいと思っております。

○議長（大須賀浩裕君） 6番緒方議員。

○6番（緒方一郎君） 課題は多岐にわたりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

以上で終わります。

○議長（大須賀浩裕君） ほかの方。7番半田申明議員。

○7番（半田申明君） 6点質問をします。まず9ページ分担金についてです。先ほど管理者からの提案説明の中にもございました。両市を取り巻く財政状況、大変厳しいものがあるということで、これは長年続いた、なかなか解決できない課題という状況でございます。そのような中、9ページの分担金を見ますと、三鷹市、調布市双方が均等割の部分で7,895万9,000円負担という予算案でございます。なかなか事業費を減らすというのは、これは現実的には、実際には難しい。ごみは日々発生するわけですから。やはり総務費、そういったところでどれだけ削減をして、かつ両市の分賦金を、負担を減らしていくのかというのは、これはやはり長い目で考えていかなければいけないテーマなのかなと、そのように考えております。そういった中で、議会を含めて、議会費、総務費の部分をごどのように再生していくか、程かしていかなければいけないか。それを考えなきゃいけないと思うわけですが、例えば、我々議員でいうならば議員報酬、あと職員給料の中でいうならば管理者、副管理者及び参与の給料の削減、これはやはり考えていかなければいけない時期に差しかかっているかと思ひます。言うまでもなく、議員報酬については議員の中で議論すべきことは百も承知でございますが、減らすやり方については、例えば額面を減らすというのは一般的に考えられますけれども、支給のあり方について、毎月支給を例えば定例会月ごとの支給に変えるなど、いろいろな方法が考えられるかと思ひます。そういったことを含めて考えた場合に、これらのいわば特別職とでもいいですか、管理者、副管理者、参与の皆さん、我々議員の報酬を含めて、両市の分賦金をなるべく負担を減らしていく、そういう発想から、長期的な視野に立って今後展望していかなければいけない時期だろうと思ひます。これら人件費についてどのようにお考えなのか、まずご所見をお聞かせいただきたいと思ひます。

2つ目です。29ページになります。これは聞きたいことが幾つかありまして、まず中段なんです、ホームページ運営管理委託料51万8,000円、及びホームページ更新委託料32万4,000円について質問いたします。このホームページについては、1年間の更新の回数というのはわかりますでしょうか。あと、閲覧者数、把握している範囲で

教えていただきたいと思います。どういうことかといいますと、これはちょっとやはり高いのかなと思いますので、更新回数、閲覧者数について及びその数字と、これら2つ合わせて約80万余になります。果たして費用対効果が合っているのかどうか、一度検証しておかなければいけないのではないかと。その点を踏まえまして、数字を含め、お教えをいただきたいと思います。

あわせて、2つ下になります広報作成委託料178万1,000円になります。これは紙面の大きさを考えた場合に、1ページ当たりの単価がどうなのかについては考えられたことはあるのでしょうか。現状の数字はどうでしょうか。両市それぞれ自治体の広報を出しておりますが、それぞれとの比較をした場合に、数字的にはどうなのか、そういった検証をなされていらっしゃるのかについてお伺いしておきたいと思います。これも、その発行回数に比べて178万1,000円というのはちょっとやはり高いのかなと思っておりますので、数字を含めお教えをいただきたいと思います。今のが3点目になります。

4点目、同じく29ページ、パソコン・サーバー使用料についてでございます。これはふじみのホームページ含め、サーバーのあり方について、当然これは契約のあり方だろうなとは思いますが、結論から申しますと、これもちょっとやはり高いのかなと。つまり、これらホームページ、広報、サーバー、今、3つ問題提起をいたしました。今の時点で費用対効果をやはりもう1回考え直すべきではないかと思っておりますので、お考え、数字を含めお教えをいただきたいと思います。これが4点目になります。

5点目、31ページになります。先ほど緒方議員からのほうも質問がございました。ふじみまつり運営費でございます。提案理由説明の補足説明ということで事務局長から増額というお話があったかと思っております。この増額の内訳、何にどのように増額するのかについてちょっとお教えいただきたいと思います。

6点目、これは特に何ページというわけではありませんが、リサイクルセンターの整備更新についてちょっとお伺いしておきたいと思います。例えば三鷹市の場合でございますと、その見直しについては、4次計の最終年度、34年度ということで出てはおりますが、遠いようでやっぱりもう近い将来の話だろうと思っております。現時点で、昨年度も例えばリサイクルセンターのあり方について視察に、秋でしたか、行かせていただきましたけれども、そろそろ青写真といいますか、例えばここは定例会という場なんです。定例会という場でなくてもいいので、現時点でリサイクルセンターの設備の、要するに建てかえですね、更新についてはどのような観点からどのような問題点を把握しというようなことの検討の

結果の途中報告といえますか、それをちょっとどこかの機会で考えていただきたいと思うんです。

視察のときにも臭気対策の話が雑談で飛び交いましたが、確かに大変重要な話かと思えます。現状でどのような課題を把握していらっしゃるのか、把握していらっしゃることを含めて、検討結果をお聞かせいただきたい。

以上、6点になります。よろしくご答弁をお願いいたします。

○議長（大須賀浩裕君） 答弁を求めます。清原管理者。

○管理者（清原慶子君） それでは、ただいまいただきましたご質問の1点目と6点目について、管理者からお答えいたします。1点目の議員の皆様をはじめ、管理者、副管理者等々の人件費に関する問題意識を伺わせていただきました。このことにつきましては、ふじみ衛生組合の構成市であります両市の自治体との関係もございますので、この場では私としては、質問者も議会については議会の関係もあるしと認識された上でのご質問でございますので、ご質問というよりもご意見として伺わせていただきます。

6点目について、リサイクルセンターの今後の更新の計画については、もちろんご指摘の臭気を含めて、幅広く根本的に考えております。このことにつきましては、私たちの検討の折々に時期を見て、議会の管理者報告でご報告もさせていただきたいと思っておりますが、この場においては、まず幅広くリサイクルセンターのあり方についての検討を内部で進めているプロセスにあるというふうにお答えをしておきたいと思っております。

以上です。

○議長（大須賀浩裕君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） それでは、私からは2点目のホームページ、3点目の広報、4点目のパソコン・サーバー、5点目のふじみまつりということでお答えをさせていただきますと思います。

まず、ホームページの更新でございますが、平成24年度まではほぼ月に1回程度というところで行っておりました。25年度には、それに加えて小さな修正につきましては私どもふじみ衛生組合の職員のほうでも直接できるというような機能を設けましたので、プラス数回行っているところでございます。

閲覧者でございますけれども、直近の平成23年度、平成24年度の実績しか持ち合わせしておりませんが、平成23年度が年1万1,760件でございますが、月に直しますと980件、そして平成24年度が1万2,809件、月平均で1,067件という

ふうになっております。また、費用対効果につきまして、今、ご意見いただきましたので、今後、その点も含めまして検討していきたいというふうに思っております。

続きまして、3点目の広報でございますけれども、これは現在、A3判のサイズの広報を年に2回発行しているものでございます。色的には2色使っております、ブルー系統またはグリーン系統の色を使っております。配布につきましては新聞の折り込みでお願いしております、この経費は印刷代とその後の新聞折り込みを含む経費でございます。三鷹市の広報についてはシルバー人材センターで配布しているというようなこともお聞きしていますので、その辺も含めまして、今後、検討させていただきたいというふうに思っております。

続きまして、4点目、パソコン・サーバーでございますけれども、やはりこういった重要な情報、消えてしまうと困るということで、今、毎週金曜日にその1週間分のデータを全てサーバーのほうに吸い上げまして、それを5回分とっておくことができる機能がついております。したがって、1カ月ちょっとにつきましては、パソコン上でデータが飛んでしまったとしても、その段階にまでさかのぼれば、過去のデータについて再度吸い上げることができるようになっております。その辺の費用が一番大きくかかっていると思っておりますので、今後、費用対効果を含めまして、さらにいい方法がないかどうか検討していきたいというふうに思っております。

それから、ふじみまつりでございますけれども、平成25年度と平成26年度を比べまして増えていますのがイベント開催の委託料でございます、これは平成25年度70万円に対しまして、平成26年度150万円ということで、これが一番大きな費用となっております。平成25年度は初年度ということで70万円の予算を組みましたけれども、実際には70万円ではできなかったということで、ほかの委託料等から流用も行って、何とか開催したということを踏まえまして、平成26年度につきましては平成25年度の実績を踏まえ実額ベースで予算要求をさせていただいたものでございます。

以上でございます。

○議長（大須賀浩裕君） 7番半田議員。

○7番（半田伸明君） 詳細にわたりご答弁ありがとうございました。質問の1点目の分担金のあり方及び削減のあり方については、ご意見というよりは均等割の削減のあり方をゼロベースで見直すべきではないかということも含めてお考えをいただきたいと思いません。管理者の答弁はよくわかりました。

2点目のホームページ、これは更新回数月1回ということなのですが、その月1回の更新回数のほかに、小さな内容については中でできるということであるならば、それはあくまで中で更新している話でございますから、そういうことを含めた場合に、結果的にはやはり月1回の更新回数というままの契約ということになると思うんですよね。月1回でこの金額は、ちょっとさすがにやはり高い。ちょっと私は正直びっくりしました。これは一定の見直しを図っていただきたい。

閲覧者数が増えていることは大変すばらしいことだと思いますが、更新回数月1回しかないのにこの金額はいかかなものかということは、ぜひ強く業者に当たっていただきたい。これは要望です。

3つ目、広報についてもそうなのですが、新聞折り込みということでございます。新聞折り込みとシルバー人材さんを使わせていただいた場合と、どれだけ単価が違うという話ではなくて、そもそも新聞折り込みは新聞折り込みでしかない。つまり、新聞を見ない方も現実にはいらっしゃる。そういったことを考えた場合に、広報のあり方を考えた場合には、やはり費用が高くなってもいいから、これは全戸配布に切りかえるべきではないかという問題提起。

あとは年に2回ということの紙面、実際にはそんなにどーっとあるわけではありません。その年に2回、かつ紙面の大きさ、ページ数を考えていった場合に、これは見直しをすべきではないか。あわせて配布の委託のあり方については、ぜひちょっと全戸配布の重要性をもう1回考えてみてはいかがでしょうかということでございます。これでもう、今度は結構でございます。

4点目、パソコン・サーバー使用料については予想どおりのご答弁だったわけですが、サーバーに上げるといいますが、今、クラウドの時代でございます。保存することでお金を取る業者が、今、お金を取れなくなってきている時代に入っているんですね。これもぜひ見直しをしていただきたい。これもご答弁はよくわかりました。

実際、あと、管理者からの説明のリサイクルセンターの青写真のあり方についてはよくわかりました。これは何を申し上げたかったかということ、昨年の秋、関西のほうに皆さんで視察に行かせていただいて、大変勉強になりました。勉強になった結果はやはり共有をしておきたい。そのことを踏まえて視察に行かれた後に新たにお感じになられたこともあろうかと思うんです。そういったことを含めて、やはりざっくばらんな意見交換、もしくはこういう管理者報告という形でも結構でございますので、なるべく報告の回数を増やす、

ないし、例えば休憩の場で議論するとか、いろいろなことがあろうかと思うんですが、リサイクルセンターのあり方については、もっと議論を深めていくべきではないかという長期的な問題提起でございます。この点は管理者の説明で十分納得をいたしました。

最後、ふじみまつりで、これはちょっと確認しておきたいんですが、70万で実際無理でしたというお話なんですが、先ほど、実額ベースというお話、ご答弁ございました。実額ベースで、実際、どのぐらい、まだ決算じゃないわけですけど、どのぐらいお支払いになったのか、ここはちょっと一応確認をしておきたいと思います。いかがでしょうか。

○議長（大須賀浩裕君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） 申しわけございません。今、手元に資料がございませんので、また後ほどということでもよろしく願いいたします。

○議長（大須賀浩裕君） 7番半田議員。

○7番（半田伸明君） じゃ、後ほど教えていただきたいと思います。イベント開催委託、これ、実際の設営の関係が、お金が一番多分取られるんだろと思うんですが、当初の見込みと違って流用せざるを得なかった、これはしようがない話だと思うんですね、第1回目だったということもありますし。先ほど緒方議員のお話にもございましたが、出店を募るということを考えていった場合、考えようによっては、じゃ、設営をやってくださいねと、そのかわり出店を認めますというやり方も考えられるのかなと。つまり、設営の委託の部分について、どうすれば同じ規模を維持したまま、私もちょっとお邪魔しました、あのぐらいの規模が一番いいのかなと思いますので、そこは1回考えてみてもいいのかなという問題提起でございます。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（大須賀浩裕君） ほかの方、発言ありますか。1番平野議員。

○1番（平野充君） 本日、管理者のほうからエントツくんの登録商標手續のお話も受けましたけれども、この予算書の中でも31ページのところにエントツくんグッズの作成委託料とかいう項目も出てきますけれども、既に現在でももうすばらしいクリアファイルございますので、大体どんなものかな、イメージはわくんですけれども、こういった委託料というのは、これは額的に81万とかこれぐらいの額だと、これはちょっと勉強不足で申しわけございませんが、入札でしょうか、済みません。

○議長（大須賀浩裕君） 答弁を求めます。荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） これはつくるものにもよると思うんですが、金額的には入

札の金額になろうかと思っております。

○議長（大須賀浩裕君） 1番平野議員。

○1番（平野充君） では、既に現在できているグッズも、そういった経緯だと思うんですけども、せっかくこのエントツくんという、三鷹、調布独自のものですので、委託先が三鷹市か調布市か、そういったところの業者さんを使っていただけているのかどうか、今後の考え方も含めて教えていただけますでしょうか。

○議長（大須賀浩裕君） 答弁を求めます。荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） 現在、グッズとしてクリアフォルダーがございますけれども、あれにつきましては三鷹、調布市内の業者さんに委託したものでございます。今後も地元業者さんの繁栄ということも含めまして考えていきたいというふうに思っております。

○議長（大須賀浩裕君） 1番平野議員。

○1番（平野充君） ありがとうございます。以上です。

○議長（大須賀浩裕君） 次の方、10番大城議員。

○10番（大城美幸君） 1点、私もホームページの件について要望ですけれども、質問はされていますので、アクセス数が増えているというのは、もちろん中身で引きつけて増えるということもあるんですけど、増えなきゃいけないんですけども、管理者から最初にご報告があったように、最新鋭の施設であるということからの関心が高くて増えているということがあるというふうに考えると、ホームページの委託料については、やはり高いのではないかと思うので、その辺はご検討いただきたいというふうに、そして、中身の充実は図っていただきたいというふうに要望したいと思います。

質問は1点なんですけれども、31ページの環境学習推進費なんですけど、管理者の方針、新年度の方針として環境学習の中心的な施設としての役割も大きく担っているということでお話がありました。管理者報告の中でも施設見学、視察の見学、海外からの視察等もあったという報告で、来場者が6,588人あったという報告があったんですが、その31ページの中で、環境学習推進員賃金、チーム謝礼というのがありますけれども、ふじみの去年の25年度3月の広報の中で、環境学習を推進する臨時職員を募集しますということであります。それがこの推進員の賃金のところに当たるのかと思うんですが、最新鋭の施設ということで視察、見学は小学校全ての両市の小学校が見に来ることを考えると、これまで以上に見学者、視察希望というのが増加するということが見込まれると思うんですが、そういうことを考えると、前年度と比較して、環境学習の推進する人員、説明する

人というのは増減があるのかどうかということをお教えいただきたいということと、あと、パネルの作成デザイン業務委託料というのがあるんですが、現在、もう既に展示されていますよね。追加でのもがあるというふうには思うんですが、どのようなもの、どういうものが追加でパネルが必要というふうに、どれくらいのパネルの増が見込まれているのかということがわかれば教えていただきたいと思います。

以上です。

○議長（大須賀浩裕君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） まず環境学習推進員賃金ということでご質問ございました。環境学習推進員の賃金でございますけれども、昨年度96万4,000円に対しまして、平成26年度は179万8,000円ということで約2倍近い金額を予算要求させていただいております。これは議員さんからもお話がございましたとおり、想定以上に来場者が多いということがございます。現在、120名まで入る研修ホールがございますけれども、120名が一度に現場のほうに入るとするのは、説明も声が通りませんし、見学者の窓も限られておりますので、大体15名から20名を1班にしまして、この臨時職員さんにご案内をお願いしています。ですので、仮に20名としましても、120名来た場合には6班になりますので、6人臨時職員が必要になるということになるわけでございます。そのようなことから、広報で臨時職員を募集しました。当初は30名ぐらい登録がありましたが、やはりご自分のご都合等でやめられる方もございまして、大分絞られてきました。その分、今残っている方はかなり専門性も身につけてきてまして、我々職員と同等の対応ができるまで成長してきたというふうに思っております。今後も視察者の人数を踏まえて臨時職員については対応していきたいというふうに考えているところでございます。

それから、パネルでございますけれども、現在は焼却場がつけられた経緯ということで、地球環境問題、そして資源の枯渇問題、そういったものをクリアしていくためには3Rがとても大切です。ただ、その3Rをしても残ってしまうごみについて、この焼却場で適正に処理をしていますというようなストーリーのパネルができ上がっております。今後は、それのみならず、やはりごみの減量、リサイクルの推進等々も含めましてパネルを充実していきたいということで、この予算を要求したものでございます。まだ3階についてもかける場所ございますし、2階についてもございますので、そういったところを充実していきたいということでございます。よろしく願いいたします。

○10番（大城美幸君） わかりました、ありがとうございます。

○議長（大須賀浩裕君） いいですか。ほかに発言は。2番川畑英樹議員。

○2番（川畑英樹君） 今の環境学習の部分で、関連でご質問させていただきます。意見も含めますけど、パネルを充実していくという話ですが、実際、そのパネルをご努力いただいて、あと現場を見せるために外から、窓から現場を見るということは非常にいいことだと思いますが、私、二枚橋の議員のときに、施設名はちょっと忘れちゃったけれども、実際、見学をさせていただいたときに、ものをさわったり、あるいは実際にビジュアル的に訴えるような、ものすごくいい見学コースがありました。それはどうやっているかというのを、実際の小さなミニチュア版のものをずっと窓の各個に置いてあって、それが動くんですね。それをちゃんとキャラクターが説明していく。実際、説明員を募集されているということですが、それも必要かもしれませんが、実際、ちゃんと興味を持てるような、ただ単に環境学習として押しつけとは言いませんけれども、そういうことで見せるのでなくて、興味を持てるようなことをもっともっとこれから工夫すべきではないかなと。一番最初の施設であれば、それもやるべきではないかなということを思いますけれども、その点に対してはいかがでしょうか。

○議長（大須賀浩裕君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） 展示品等についても工夫が必要であると、興味を持つようというご指摘をいただきました。私どももそのとおりだと思っております。当然、子供たちを含め、一般の方も来ますので、その年代、年代に応じて興味を持てるような仕組み、展示品を作成していきたいというふうに思っております。ですので、本年度の予算につきましても、パネルの作成委託のほかにも、展示品の作成委託料ということで、額は少ないですが計上させていただいております。その中で今年度、そういったミニチュア等を含めて、何か工夫ができないかどうか検討してまいりたいと思っております。

また、将来的には他の施設をいろいろ見学させていただきながら、これはいいなというものがあれば、また予算要求をさせていただいて、皆様のご理解が得られれば、充実していきたいというふうに考えております。よろしく願いいたします。

○議長（大須賀浩裕君） 2番川畑議員。

○2番（川畑英樹君） 意見にしておきますけれども、最新の施設であるならば、最新の施設に誇れるような、ちゃんと見学コースを設けて、あるいは海外の方からも来るのであれば、それに対応するような形で考えていただければなと要望しておきます。

○議長（大須賀浩裕君） 続いて、8番田中順子議員。

○8番（田中順子君） それでは、今、関連の質問になりますけれども、ただいまの社会科見学といたしますか、特に学校の児童とか生徒を対象にした見学ということで、今回、1年度目としてなさって、来年度、改めてまた見直し等何かありましたらぜひお聞かせをいただきたいと思います。

○議長（大須賀浩裕君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） 学校の社会科見学といたしますと、どうしても小学校4年生が対象になっております。ただ、私どもとしては広くもっと子供さん方に見学していただきたいし、知識も学んでいただきたいと思っておりますので、例えば、夏休み期間中を通じて小学生が来れるような取り組み、それから、例えば今回、ふじまつりでは子供探検隊ということで子供さんを集めまして、焼却炉の炉室へ入っていただいたりもしましたけれども、ちょっと人数が少なかったということもありますので、例えばそれを親子探検隊に変えてみるとか、4年生以外の子供たちにも積極的に見ていただけるような工夫をしてみたいというふうに思っております。よろしく願いいたします。

○議長（大須賀浩裕君） 8番田中順子議員。

○8番（田中順子君） ありがとうございます。実際に、ほんとうに先ほどもありましたけど、このクリーンプラザふじみが、私どもの子供たちといたしますか、まちをこれから担っていく子供たちの環境学習のほんとうに拠点になってもらうというのは大変大事なことだと思っております。そういう中で考えますと、小学校の場合、4年生が今回もそれぞれ各両市から見学に来て、また私立学校の児童さんもいらしたということでございますけれども、ちょうどこの期間、オープンしてからの小学生に対するあれを考えますと、ちょうど今年の4年生は全員見学をさせていただいたと。そうしますと、5年生が来年6年になりますけど、その5年生は実際には受けて、見ていないといたしますか、見学ができていないんですね。大変細かい言い方で恐縮でございますけれども、何しろできるだけ、せっかくできた施設を有効にというか、やっていただくためにも、大変6年生は忙しいと思います、1年間、でも、どこか時間をつくって働きかけをして、ぜひこのふじみの存在といたしますか、ほんとうに見学をしていただいて、皆様に理解をいただくと。小学生全員は見学ができたというような状況ができれば、また大変ありがたいなと思っておりますので、ぜひ工夫をしていただけたらと思います。

以上でございます。

○議長（大須賀浩裕君） ほかに発言ありますか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○議長(大須賀浩裕君) それでは、発言がないようですので、質疑を打ち切ります。
これより討論に入りますが、討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(大須賀浩裕君) よろしいですね。討論がないようですので、討論を打ち切ります。

これより採決いたします。議案第5号、平成26年度ふじみ衛生組合予算について、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○議長(大須賀浩裕君) ありがとうございました。満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

それでは、これで会議を閉じます。

これにて平成26年第1回ふじみ衛生組合議会定例会を閉会いたします。どうもお疲れさまでした。

午前11時42分閉会

以上会議の顛末を書き、その相違ない
ことを証するためここに署名する。

平成26年2月19日

ふじみ衛生組合議会議長

大須賀 浩裕

ふじみ衛生組合議員 4 番

広瀬 美知子

ふじみ衛生組合議員 8 番

田中 順子